

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2010年5月30日現在

概況 ワシントン州東部の5月30日に終る1週間は、前週に続き Very Cool & Wet の気象であった。EC地区の最高気温は68~71度Fに下がり平均気温は平年を7~9度F下回った。同地区の1週間の降水量は0.70~1.21インチであった。SE地区の最高気温も前週より低く66~76度F、平均気温は平年を4~9度F平年を下回った。1週間の降水量は0.63~1.12インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.7日(前週:4.9日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、前週より改善し5年平均のレベルに近付いた。冬小麦は37%が出穂(昨年:28%、5年平均:45%)し、春小麦は98%が出芽した。両小麦とも昨年より生育は早めであった。EC地区のAdams郡及びLincoln郡の土壌水分は降雨のお陰で例年に無く良好であり、冬小麦及び春小麦の作柄は平年以上の評価であった。Spokane郡でも1.0~1.75インチの降雨が5月31日にあり、冬小麦及び春小麦の状態を大幅に改善した。特に出穂直前の冬小麦には恵みの雨であった。Walla Walla郡の冬小麦は殆ど出穂した。Cool & Wetの5月の気象は冬小麦にとり有効であったが、同時に農家は例年より農薬散布の機会が少なく病気の発生が危惧された。Whitman郡でも十分な降水が有り、小麦は順調な生育を示しているが、今後は気温の上昇が望まれた。冬小麦並びに春小麦の作柄は前週より改善した。

### 土壌水分及び灌漑用状況(\*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	2	10	70	18
	Last week	3	8	66	23
	5-Yr Ave.	4	19	71	6
Subsoil	This week	5	34	60	1
	Last week	7	34	56	3
	5-Yr Ave.	7	29	63	1
Irrigation	This week	0	7	93	2
	Last week	0	5	93	2
	5-Yr Ave.	2	3	92	34

### 冬小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	37	20	28	45

### 冬小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	6	8	17	55	14
Last week	6	9	18	55	12

### 春小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Emerged	98	96	96	97

### 春小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	2	21	68	9
Last week	0	1	28	66	5

(\*) Source: National Agricultural Statistic Service, Washington-Field Office, USDA. 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)までお願い致します。

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.